

材料試験 一覧表

材料の種類	生産業者	生産地	材質等
5号砕石	坂田砕石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
6号砕石	坂田砕石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
7号砕石	坂田砕石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
砕砂	坂田砕石工業㈱	岡山県久米郡久米南町	硬質砂岩
天然砂	住若海運㈱	佐賀県	海砂
石粉	足立石灰工業㈱	岡山県新見市足立	石灰石粉
ストレートアスファルト	昭和瀝青工業㈱		ストアス60-80
ポリマー改質Ⅰ型アスファルト	昭和瀝青工業㈱		改質Ⅰ型
ポリマー改質Ⅱ型アスファルト	昭和瀝青工業㈱		改質Ⅱ型
R13-0	クリーンアスコン	八頭郡八頭町郡家	再生材
P-4000	㈱丸井商会		添加剤



骨材試験成績書

郵便番号 708-0003
依頼者 所在地 岡山県津山市北園町31番地9
会社名 坂田砕石工業(株) 様
(依頼者コード= 08063)

令和7年12月18日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和8年1月16日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 宮脇 泰一郎



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1
2. 受付番号	251218005
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-20(5号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	251218005	生産地・採取地	岡山県久米郡久米南町下二ヶ
名称等	S-20(5号)	生産者・採取者	坂田砕石工業(株)
試験年月日	令和8年1月14日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

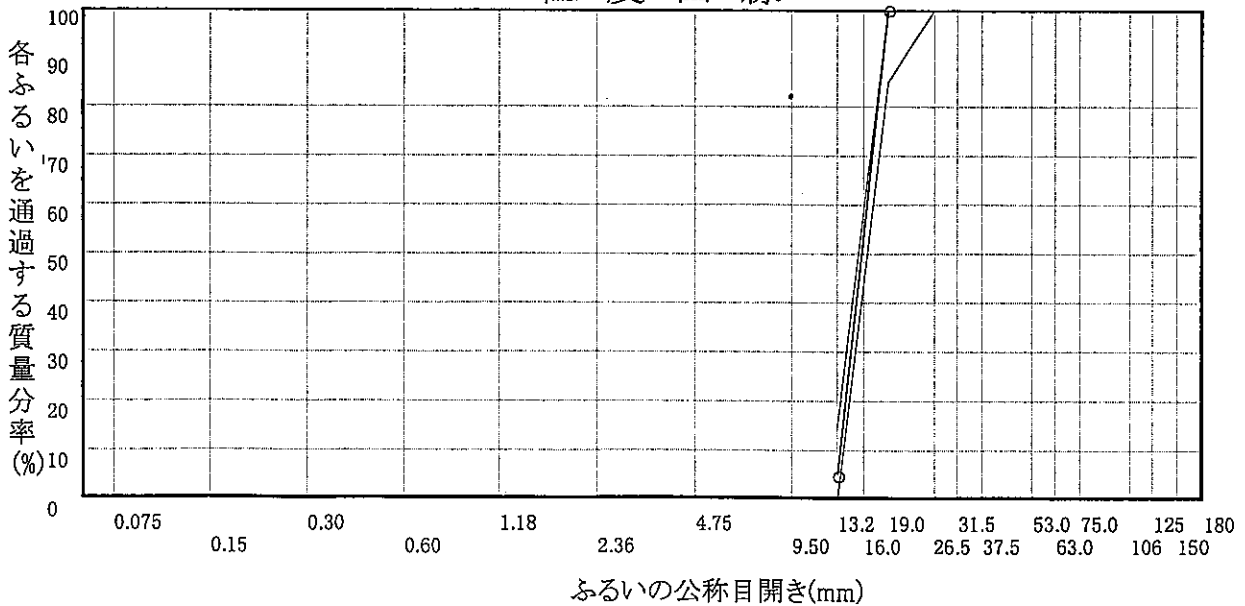
試験結果

密度及び 吸水率 JISA1110: 2006	表乾密度	2.682 g/cm ³
	かさ密度	2.663 g/cm ³
	見掛密度	2.714 g/cm ³
	吸水率	0.701 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.57 kg/L
実積率 JISA1104:2006		59.0 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022		粒度区分 (*) %
安定性 JISA1122:2014		* %
有機不純物 JISA1105:2015		*
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		* %

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

ふるいの 公称目開き(mm)	種別	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
26.5		*	*	*
19.0		*	*	100.0
13.2		*	*	4.9
粗粒率		*		
摘要				

粒度曲線



舗装試験法便覧	粗骨材の形状試験
---------	----------

工事名	配合試験	試験年月日	令和8年1月14日
試料名	5号砕石	試験場所	日本道路(株)中四国技術センター
採取地	坂田砕石工業(株)	試験者	石川 高弘
採取者	石川 高弘		

ふるいの寸法		①	②	③	④	⑤
通る ふるい (mm)	留まる ふるい (mm)	ふるい分け 試験による 各群の質量 百分率 (%)	試験前の 各群の質量 (g)	各群の細長 偏平石片の 質量 (g)	各群の細長・ 偏平石含有量 (%) ③/②×100	粗骨材中の 細長・偏平石 含有量 (%) ①×④/100
20	13	100.0	1002.1	7.9	0.8	0.8
合計						0.8

備 考

試験法便覧 A007	ひっかき硬さによる粗骨材中の軟石量試験
------------	---------------------

調査名・目的 配合試験

試料名 5号砕石 試験者 石川 高弘

採取地 坂田砕石工業㈱ 試験場所 日本道路㈱中四国技術センター

採取者 石川 高弘 試験年月日 令和8年1月14日

ふるい寸法		①ふるい分け試験による各群の重量百分率 (%)	②試験前の各群の重量 (g)	③試験前の各群の個数 (個)	④各群の軟石重量 (g)	⑤各群の軟石個数 (個)	⑥各群の軟石重量百分率 (%)	⑦各群の軟石個数百分率 (%)	⑧粗骨材の軟石重量百分率 (%)
通るふるい (mm)	とどまるふるい (mm)						④/②×100 (%)	⑤/③×100 (%)	①×⑥/100 (%)
13	5	4.9	—	—	—	—	0.4		0.0
20	13	95.1	1059.4		8.5		0.8		0.8
25	20	0.0	—	—	—	—	0.4		0.0
合計									0.8

記事

注(1) 全重量の10%に満たない群のものについては、試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。

備考：

JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験番号 5号砕石

試験日 令和8年1月14日

調査名・目的 配合設計

試験場所 日本道路㈱中四国技術センター

試験採取場所 坂田砕石工業㈱

試験者 石川 高弘

記事

細骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)				
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)				
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)				
⑥	平均値からの偏差 (%)				
判定					

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)	6007.7	6037.9		
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)	6005.4	6036.3		
③	損失重量 (g)	①-②		2.3	1.6
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100		0.04	0.03
⑤	平均値 (%)			0.04	
⑥	平均値からの偏差 (%)			0.00	-0.01
判定				合格	

備考

試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない。



骨材試験成績書

郵便番号 708-0003
依頼者 所在地 岡山県津山市北園町31番地9
会社名 坂田砕石工業(株) 様
(依頼者コード= 08063)

令和7年12月18日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和8年1月16日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 宮脇 泰一郎



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1 A11-1
2. 受付番号	251218005
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-13(6号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	251218005	生産地・採取地	岡山県久米郡久米南町下二ヶ
名称等	S-13(6号)	生産者・採取者	坂田砕石工業(株)
試験年月日	令和8年1月15日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

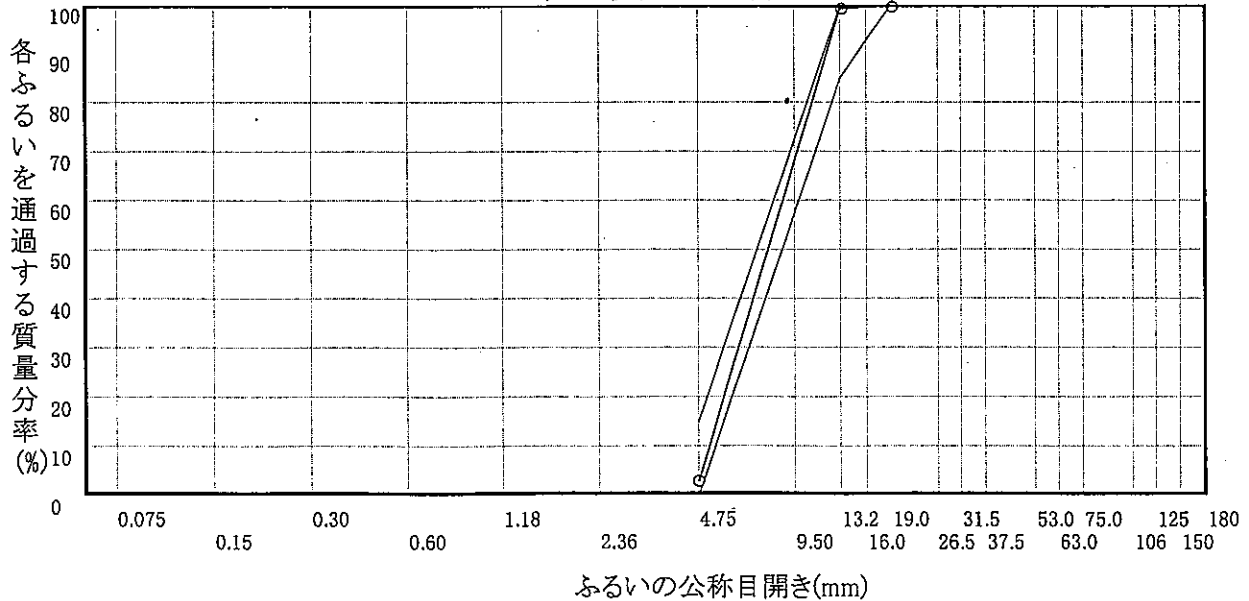
試験結果

密度及び 吸水率 JISA1110: 2006	表乾密度	2.670 g/cm ³
	かさ密度	2.644 g/cm ³
	見掛密度	2.715 g/cm ³
	吸水率	0.978 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.56 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	59.0 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒区分 30%以下 (*) 11.8 %	
安定性 JISA1122:2014	* %	
有機不純物 JISA1105:2015	*	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	* %	

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
19.0	*	*	100.0
13.2	*	*	99.5
4.75	*	*	3.0
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線



舗装試験法便覧	粗骨材の形状試験
---------	----------

工事名	配合試験	試験年月日	令和8年1月14日
試料名	6号砕石	試験場所	日本道路(株)中四国技術センター
採取地	坂田砕石工業(株)	試験者	石川 高弘
採取者	石川 高弘		

ふるいの寸法		① ふるい分け 試験による 各群の質量 百分率 (%)	② 試験前の 各群の質量 (g)	③ 各群の細長 偏平石片の 質量 (g)	④ 各群の細長・ 偏平石含有量 (%) ③/②×100	⑤ 粗骨材中の 細長・偏平石 含有量 (%) ①×④/100
通る ふるい (mm)	留まる ふるい (mm)					
13	5	100.0	1000.3	10.4	1.0	1.0
合計						1.0

備 考

試験法便覧 A007	ひっかき硬さによる粗骨材中の軟石量試験
------------	---------------------

調査名・目的 配合試験

試料名 6号砕石 試験者 石川 高弘

採取地 坂田砕石工業㈱ 試験場所 日本道路㈱中四国技術センター

採取者 石川 高弘 試験年月日 令和8年1月14日

ふるい寸法		①ふるい分け試験による各群の重量百分率 (%)	②試験前の各群の重量 (g)	③試験前の各群の個数 (個)	④各群の軟石重量 (g)	⑤各群の軟石個数 (個)	⑥各群の軟石重量百分率 ④/②×100 (%)	⑦各群の軟石個数百分率 ⑤/③×100 (%)	⑧粗骨材の軟石重量百分率 ①×⑥/100 (%)
通るふるい (mm)	とどまるふるい (mm)								
5	2.5	3.0	—	—	—	—	0.6		0.0
13	5	96.5	209.1		2.5		1.2		1.2
20	13	0.5	—	—	—	—	0.6		0.0
合計									1.2

記事

注(1) 全重量の10%に満たない群のものについては、試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。

備考：

試料番号 6号砕石

試験日 令和8年1月14日

調査名・目的 配合設計

試験場所 日本道路楸中四国技術センター

試料採取場所 坂田砕石工業楸

試験者 石川 高弘

記事

細骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)				
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)				
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)				
⑥	平均値からの偏差 (%)				
判定					

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)	2016.2	2191.6		
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)	2014.4	2190.2		
③	損失重量 (g)	①-②	1.8	1.4	
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100	0.09	0.06	
⑤	平均値 (%)		0.08		
⑥	平均値からの偏差 (%)		0.01	-0.02	
判定			合格		

備考

試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない。



骨材試験成績書

郵便番号 708-0003
依頼者 所在地 岡山県津山市北園町31番地9
会社名 坂田砕石工業(株) 様
(依頼者コード = 08063)

令和7年12月18日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和8年1月16日 鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 宮脇 泰一郎



1. 試験種別	A08-1 A09-1 A10-1
2. 受付番号	251218005
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	S-5(7号)

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	251218005	生産地・採取地	岡山県久米郡久米南町下二ヶ
名称等	S-5(7号)	生産者・採取者	坂田砕石工業(株)
試験年月日	令和8年1月15日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

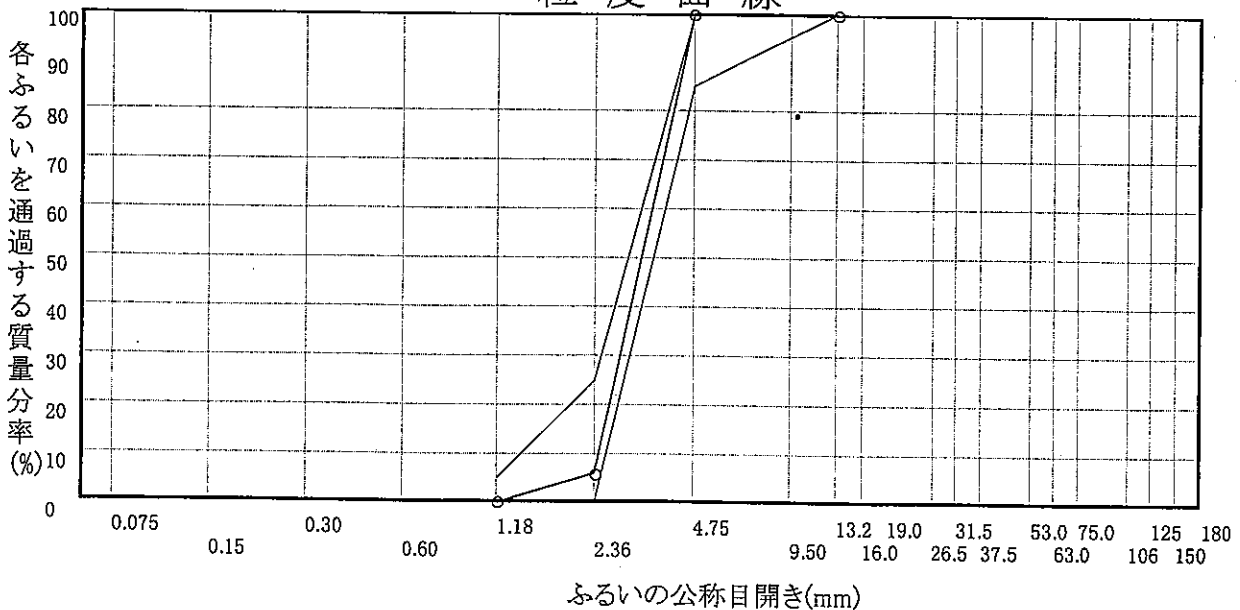
試験結果

密度及び吸水率 JISA1110:2006	表乾密度	2.655 g/cm ³
	かさ密度	2.628 g/cm ³
	見掛密度	2.702 g/cm ³
	吸水率	1.045 %
単位容積質量 JISA1104:2006		1.48 kg/L
実積率 JISA1104:2006		56.3 %
微粒分量 JISA1103:2014		* %
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分(*)	* %
安定性 JISA1122:2014		* %
有機不純物 JISA1105:2015		* %
塩化物 JISA5002:2003		* %
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		* %
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		* %
粘土塊量 JISA1137:2014		* %

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	100.0
4.75	*	*	99.9
2.36	*	*	6.1
1.18	*	*	0.2
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線



試験法便覧 A007	ひっかき硬さによる粗骨材中の軟石量試験
------------	---------------------

調査名・目的 配合試験

試料名 7号砕石 試験者 石川 高弘

採取地 坂田砕石工業㈱ 試験場所 日本道路㈱中四国技術センター

採取者 石川 高弘 試験年月日 令和8年1月14日

ふるい寸法		①ふるい分け試験による各群の重量百分率 (%)	②試験前の各群の重量 (g)	③試験前の各群の個数 (個)	④各群の軟石重量 (g)	⑤各群の軟石個数 (個)	⑥各群の軟石重量百分率 (%) ④/②×100 (%)	⑦各群の軟石個数百分率 (%) ⑤/③×100 (%)	⑧粗骨材の軟石重量百分率 (%) ①×⑥/100 (%)
通るふるい (mm)	とどまるふるい (mm)								
5	2.5	99.9	50.0		0.4		0.8		0.8
13	5	0.1	—	—	—	—	0.4		0.0
合計									0.8

記事

注(1) 全重量の10%に満たない群のものについては、試験をしないが、その群の前後における平均値をもってその群の値とする。

備考:

JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験番号 7号砕石

試験日 令和8年1月14日

調査名・目的 配合設計

試験場所 日本道路(株)中四国技術センター

試験採取場所 坂田砕石工業(株)

試験者 石川 高弘

記 事	

細骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)				
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)				
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)				
⑥	平均値からの偏差 (%)				
判 定					

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)	2080.9	2107.4		
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)	2078.9	2105.8		
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)	0.09			
⑥	平均値からの偏差 (%)	0.01	-0.01		
判 定		合格			

備考 試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない。



骨材試験成績書

郵便番号 708-0003
依頼者 所在地 岡山県津山市北園町31番地9
会社名 坂田砕石工業(株) 様
(依頼者コード= 08063)

令和7年12月18日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和8年1月16日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 宮脇 泰一郎



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1
2. 受付番号	251218005
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	砕砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	251218005	生産地・採取地	岡山県久米郡久米南町下二ヶ
名称等	砕砂	生産者・採取者	坂田砕石工業(株)
試験年月日	令和8年1月15日	試験責任者	大西 慶祐
備考	*		

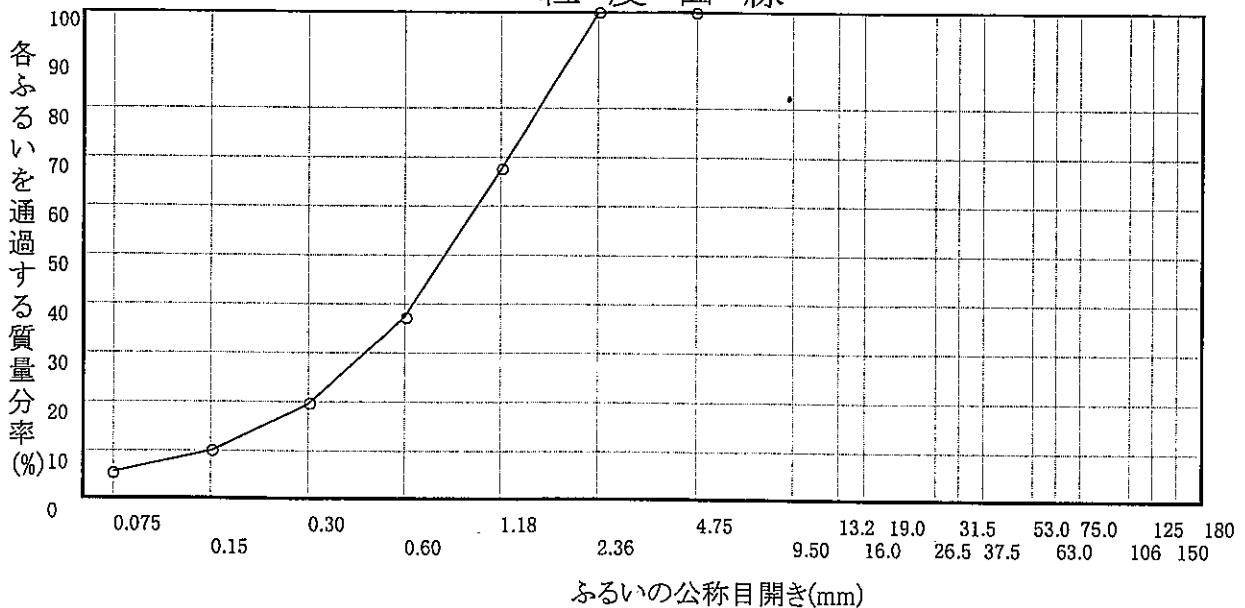
試験結果

密度及び 吸水率 JISA1109: 2006	表乾密度	2.651 g/cm ³
	かさ密度	2.598 g/cm ³
	見掛密度	2.743 g/cm ³
	吸水率	2.026 %
単位容積質量 JISA1104:2006	1.70 kg/L	
実積率 JISA1104:2006	65.4 %	
微粒分量 JISA1103:2014	* %	
すりへり減量 JISA1121:2022	粒度区分 (*) * %	
安定性 JISA1122:2014	* %	
有機不純物 JISA1105:2015	*	
塩化物 JISA5002:2003	* %	
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007	* %	
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007	* %	
粘土塊量 JISA1137:2014	* %	

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	*
4.75	*	*	100.0
2.36	*	*	99.8
1.18	*	*	67.7
0.60	*	*	37.4
0.30	*	*	19.8
0.15	*	*	10.2
0.075	*	*	5.7
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線



JIS A 1122	硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験
------------	--------------------

調査名・目的	配合試験		
試料名	砕砂	試験者	石川 高弘
採取地	坂田砕石工業㈱	試験場所	日本道路㈱中四国技術センター
採取者	石川 高弘	試験年月日	令和8年1月15日

試験溶液の種類		試験溶液の密度		繰り返し回数			溶液の温度	
硫酸ナトリウム		1.160		5			20 °C	
試料 種別	通る ふるい (mm)	とどまる ふるい (mm)	各群の 重量百分率 ① (%)	試験前の 各群の重量 ② (g)	試験後の 各群の重量 ③ (g)	各群の 損失重量百分率 ④=(1-③/②)×100(%)	骨材の 損失重量百分率 ⑤=①×④/100(%)	
		53	37.5					
	37.5	31.5						
	31.5	19						
	19	13.2						
	13.2	4.75						
	4.75	2.36	0.2	—	—	2.4	0.0	
	2.36	1.18	32.1	100.0	97.6	2.4	0.8	
	1.18	0.6	30.3	100.0	97.5	2.5	0.8	
	0.6	0.3	17.6	100.0	97.9	2.1	0.4	
	0.3		19.8	—	—	0.0	0.0	
	合 計		100.0				2.0	
	20mmより大きい粒径の 試験前個数 (個)			破壊状況				
	試験後異常が認められた 個数 (個)							
	20mmより大きい粒径の 試験前個数 (個)			破壊状況				
	試験後異常が認められた 個数 (個)							

備考 重量百分率が5%以上の群について試験を実施する。
0.3mmふるいを通る粒の損失質量は、0と仮定して計算する。

JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試料番号

砕砂

試験日

令和8年1月14日

調査名・目的

配合設計

試験場所

日本道路㈱中四国技術センター

試料採取場所

坂田砕石工業㈱

試験者

石川 高弘

記事

細骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)	2115.8	2090.0		
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)	2115.6	2089.7		
③	損失重量 (g)	①-②	0.2	0.3	
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100	0.01	0.01	
⑤	平均値 (%)		0.01		
⑥	平均値からの偏差 (%)		0.00	0.00	
判定		合格			

粗骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)				
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)				
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)				
⑥	平均値からの偏差 (%)				
判定					

備考

試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない。

骨材試験成績書

郵便番号 680-0824
依頼者 所在地 鳥取市行徳1丁目443-1コーポ八幡504号
会社名 (株)住若 鳥取支店 様
(依頼者コード= 04579)

令和7年11月21日 に御依頼のあった試験の結果は以下のとおりであることを証明します。

令和7年12月10日

鳥取県倉吉市福庭町2丁目23番地
公益財団法人鳥取県建設技術センター
代表理事 河田 英明
署名者 材料試験課長 宮脇 泰一郎



1. 試験種別	A01-1 A02-1 A03-1
2. 受付番号	251121002
3. 工事名	販売用
4. 工事場所	*
5. 名称等	海砂

1. 試験サンプルは依頼者提出のものである。
2. 試験サンプルの内容等については、試験依頼者提出の試験依頼書に基づき表記したものである。
3. 代表理事の文書による承認なしでは、完全な複製を除き、一部のみを複製してはならない。

試験結果

道路用骨材

受付番号	251121002	生産地・採取地	佐賀県唐津市
名称等	海砂	生産者・採取者	住若海運(株)
試験年月日	令和7年12月3日	試験責任者	大西 慶祐
備考	産地・採取地:佐賀県唐津市・鳥取港		

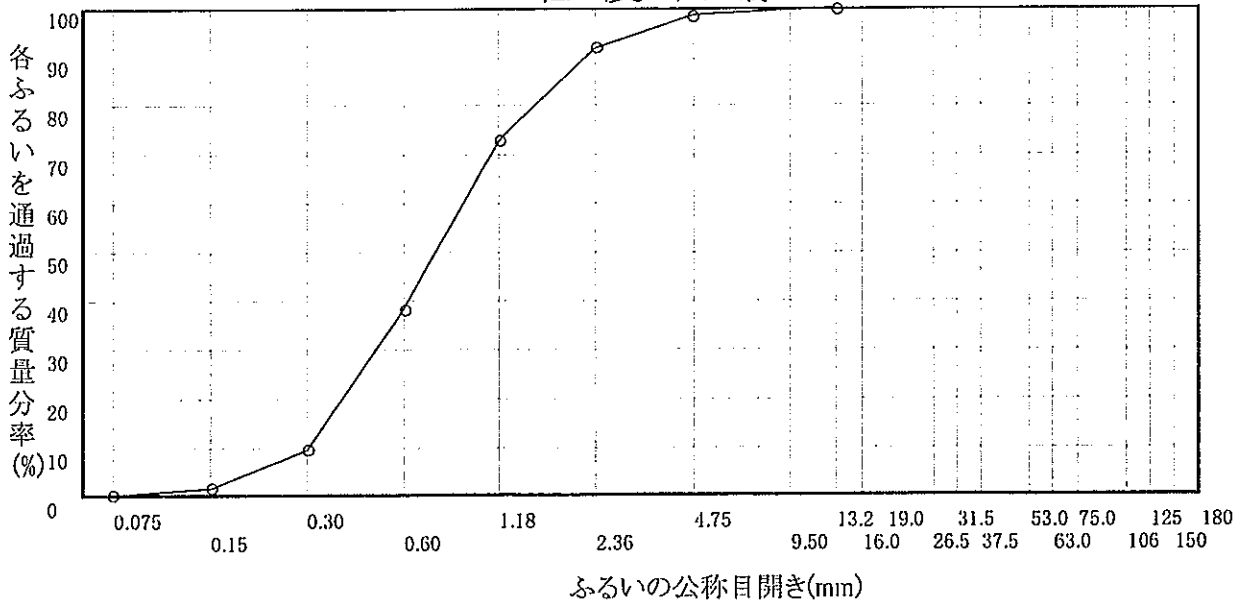
試験結果

密度及び吸水率 JISA1109:2006	表乾密度	2.579	g/cm ³
	かさ密度	2.531	g/cm ³
	見掛密度	2.659	g/cm ³
	吸水率	1.892	%
単位容積質量 JISA1104:2006		1.55	kg/L
実積率 JISA1104:2006		61.2	%
微粒分量 JISA1103:2014		*	%
すりへり減量 JISA1121:2022		*	%
安定性 JISA1122:2014		*	%
有機不純物 JISA1105:2015		*	%
塩化物 JISA5002:2003		*	%
粗骨材の軟石質量分率 旧 JISA1126:2007		*	%
軽い粒子の質量分率 旧 JISA1141:2007		*	%
粘土塊量 JISA1137:2014		*	%

ふるい分け試験結果 JISA1102:2014

種別 ふるいの 公称目開き(mm)	連続する 各ふるいの 間にとどまる 質量分率 (%)	各ふるいに とどまる 質量分率 (%)	各ふるいを 通過する 質量分率 (%)
13.2	*	*	100.0
4.75	*	*	98.5
2.36	*	*	92.0
1.18	*	*	73.0
0.60	*	*	38.5
0.30	*	*	9.8
0.15	*	*	1.9
0.075	*	*	0.6
受皿	*	*	*
粗粒率	*		
摘要			

粒度曲線



JIS A 1122	硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験
------------	--------------------

調査名・目的	配合試験		
試料名	海砂	試験者	石川 高弘
採取地	住若海運(株)	試験場所	日本道路(株)中四国技術センター
採取者	石川 高弘	試験年月日	令和8年1月15日

試験溶液の種類	試験溶液の密度	繰り返し回数	溶液の温度
硫酸ナトリウム	1.160	5	20℃

試料 種別	通る ふるい (mm)	とどまる ふるい (mm)	各群の 重量百分率		試験前の	試験後の	各群の 損失重量百分率	骨材の 損失重量百分率
			① (%)	(%)	② (g)	③ (g)		
	53	37.5						
	37.5	31.5						
	31.5	19						
	19	13.2						
	13.2	4.75						
	4.75	2.36	6.5		201.7	195.6	3.0	0.2
	2.36	1.18	19.0		100.0	98.0	2.0	0.4
	1.18	0.6	34.5		100.0	97.6	2.4	0.8
	0.6	0.3	28.7		100.0	97.7	2.3	0.7
	0.3		9.8		—	—	0	0.0
	合 計		100.0					2.1
	20mmより大きい粒径の 試験前個数 (個)			破壊状況				
	試験後異常が認められた 個数 (個)							
	20mmより大きい粒径の 試験前個数 (個)			破壊状況				
	試験後異常が認められた 個数 (個)							

備考 重量百分率が5%以上の群について試験を実施する。
0.3mmふるいを通る粒の損失質量は、0と仮定して計算する。

JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試料番号 海砂

試験日 令和8年1月14日

調査名・目的 配合設計

試験場所 日本道路(株)中四国技術センター

試料採取場所 住若海運(株)

試験者 石川 高弘

記事

細骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)	2102.3	2045.4		
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)	2102.0	2045.3		
③	損失重量 (g)	①-②	0.3	0.1	
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100	0.01	0.00	
⑤	平均値 (%)		0.01		
⑥	平均値からの偏差 (%)		0.00	-0.01	
判定		合格			

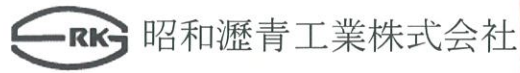
粗骨材の粘土塊量試験

測定番号		1	2		
①	試験前の試料の乾燥重量 (g)				
②	試験後の試料の乾燥重量 (g)				
③	損失重量 (g)	①-②			
④	粘土塊量 (%)	③/① ×100			
⑤	平均値 (%)				
⑥	平均値からの偏差 (%)				
判定					

備考

試験は2回行い、その精度は平均値からの差が0.2%以下でなければならない。

御中

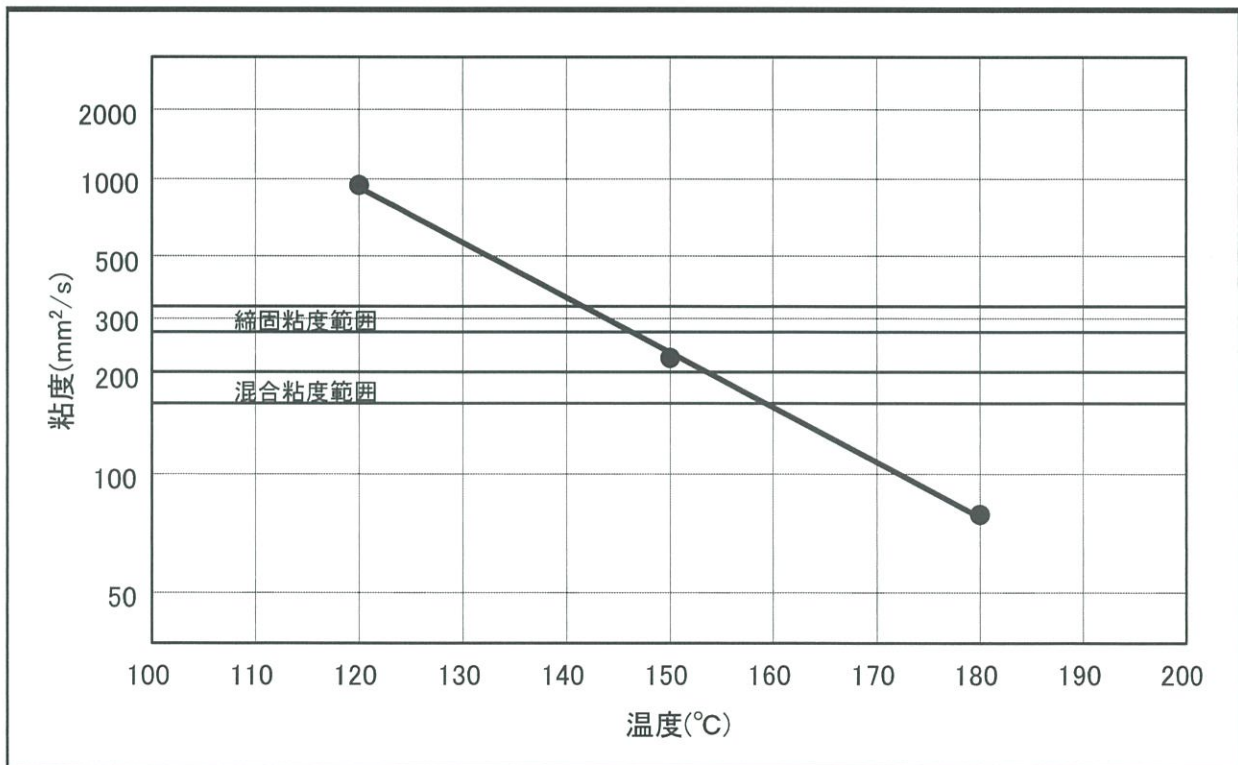


アスファルト試験成績表

品名: ストレートアスファルト60~80

(令和8年1月代表性状)

試験項目	試験結果	規格値 (J I S)
針入度 (25°C) 1/10mm	71	60を超え80以下
軟化点 °C	46.5	44.0~52.0
伸度 (15°C) cm	100+	100以上
トルエン可溶分 %	99.33	99.0以上
引火点 °C	366	260以上
薄膜加熱質量変化率 %	0.01	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	60.6	55以上
蒸発後の針入度比 %	89	110以下
密度 (15°C) g/cm ³	1.040	1.000以上
動粘度 mm ² /s	120°C	944
	150°C	222
	180°C	78
混合温度 °C	154~159	
締固温度 °C	142~146	



※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

ポリマー改質アスファルト試験成績表

(令和8年1月代表性状)

品名 ラバーフィックス



昭和瀝青工業株式会社



試験項目	試験方法	試験結果	標準的性状※2
軟化点 °C	※1	55.0	50.0以上
伸度 (7°C) cm	〃	47	30以上
タフネス (25°C) N・m	〃	24.2	5.0以上
テナシティ (25°C) N・m	〃	20.0	2.5以上
針入度 (25°C) 1/10mm	〃	61	40以上
薄膜加熱質量変化率 %	〃	0.03	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	〃	67.2	65以上
引火点 °C	〃	352	260以上
密度 (15°C) g/cm ³	〃	1.037	報告
最適混合温度 ※3 °C		160~175	
最適締固め温度※3 °C		150~160	

(備考)

※1 舗装調査・試験法便覧〔第2分冊〕

※2 (社)日本道路協会 舗装設計施工指針 平成18年度版
ポリマー改質アスファルト I型※3 最適混合・締固め温度は室内配合設計時の推奨温度です。
作業標準のための適正施工(混合・締固め)温度については
現場施工条件に応じて設定して下さい。

※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

ポリマー改質アスファルト試験成績表

(令和8年1月代表性状)

品名 レジフィックス



昭和瀝青工業株式会社



試験項目	試験方法	試験結果	標準的性状※2
軟化点 °C	※1	58.0	56.0以上
伸度 (15°C) cm	〃	73	30以上
タフネス (25°C) N・m	〃	22.8	8.0以上
テナシティ (25°C) N・m	〃	17.0	4.0以上
針入度 (25°C) 1/10mm	〃	49	40以上
薄膜加熱質量変化率 mass %	〃	0.03	0.6以下
薄膜加熱後の針入度残留率 %	〃	73.5	65以上
引火点 °C	〃	360	260以上
密度 (15°C) g/cm ³	〃	1.035	報告
最適混合温度 ※3 °C		165~180	
最適締固め温度※3 °C		155~165	

(備考)

※1 舗装調査・試験法便覧〔第2分冊〕

※2 (社)日本道路協会 舗装設計施工指針 平成18年度版
ポリマー改質アスファルト II型※3 最適混合・締固め温度は室内配合設計時の推奨温度です。
作業標準のための適正施工(混合・締固め)温度については
現場施工条件に応じて設定して下さい。

※上記の試験成績表は、前月生産実績等に基づき作成した代表性状で、納入品の実測値ではありません。

※この試験成績表には電子印を使用しております。

再生骨材試験結果一覧表

製造所 クリーンアスコン 報告年月日 令和 8 年 1 月 9 日

種類 再生骨材(13~0) 試験者氏名 石川 高弘

	試験項目	平均値	再生骨材規格
粒度試験結果 (%)	19.0 (mm)	100.0	—
	13.2	100.0	—
	4.75	74.9	—
	2.36	55.0	—
	0.60	34.9	—
	0.30	25.0	—
	0.15	13.4	—
	0.075	7.2	—
	旧アスファルト含有量 (%)	5.17	3.8以上
	旧アスファルト針入度(1/10mm)	25.0	20.0以上
	洗試験損失量 (%)	1.51	5.0以下
	最大比重 (g/nf)	2.481	—
	骨材比重 (g/nf)	—	—

備考

品質試験結果総括表

令和 8 年 1 月分

試料名 : アスファルトコンクリート再生骨材

製造工場 : クリーンアスコン

試験項目		測定値	規格値
再生骨材試料名		13~0	—
旧アスファルト含有量 (%)		5.17	3.8以上
旧アスファルトの針入度 (25°C)1/10mm		25	20以上
洗い試験で失われる量 (%)		1.51	5以下
最大密度		2.481	—
抽出後粒度 (%)	19.0mm	100	—
	13.2	100	
	4.75	74.9	
	2.36	55.0	
	0.600	34.9	
	0.300	25.0	
	0.150	13.4	
	0.075	7.2	

※ 再生骨材の品質規格は、13~0の場合の規格値である。

アスファルト混合物のアスファルト含有量試験

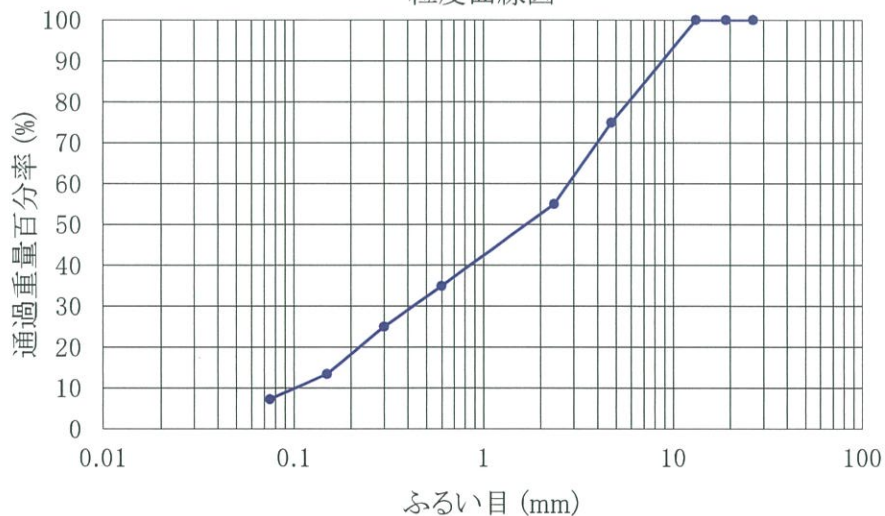
報告用紙

工事名	クリーンアスコン 再生骨材	試験年月日	令和8年1月9日
試料名	再生骨材13~0	抽出方法	遠心抽出法
採取場所	クリーンアスコン	溶剤の種類	ディップソール
採取年月日		試験場所	日本道路(株)中四国技術センター
		試験者	石川 高弘

				1	2	平均
A	試料質量	(g)		1017.1	1022.0	
B	抽出骨材質量	(g)		961.0	964.6	
C	(ろ紙+フィルター)質量	(g)		9.6	8.7	
D	ろ紙質量	(g)		5.1	5.2	
E	付着フィルター質量	(g)	C-D	4.5	3.5	
F	全抽出骨材質量	(g)	B+E	965.5	968.1	
G	アスファルト質量	(g)	A-F	51.6	53.9	
H	アスファルト含有量	(%)	$G/A \times 100$	5.07	5.27	
	設計アスファルト量	(%)				

ふるい目 (mm)	1			2			平均 通過重量百分率 (%)
	加積残留 (g)	加積残留 (%)	通過重量 (%)	加積残留 (g)	加積残留 (%)	通過重量 (%)	
26.5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
19.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
13.2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0
4.75	246.1	25.5	74.5	239.2	24.7	75.3	74.9
2.36	431.4	44.7	55.3	438.7	45.3	54.7	55.0
0.600	637.4	66.0	34.0	621.3	64.2	35.8	34.9
0.300	715.6	74.1	25.9	734.6	75.9	24.1	25.0
0.150	832.8	86.3	13.7	841.7	86.9	13.1	13.4
0.075	898.5	93.1	6.9	895.9	92.5	7.5	7.2
	965.5			968.1			

粒度曲線図



調査・工事名	クリーンアスコン 再生骨材	試験年月日	令和8年1月9日
目的	再生骨材定期管理試験	試験場所	日本道路(株)中四国技術センター
混合物の種類	再生骨材13~0	試験者	石川 高弘
試料採取場所	クリーンアスコン		

容器番号・試料番号	1	2	3				
① 水洗い前の骨材乾燥重量 (g)	2122.0	2095.0	2194.3				
② 水洗い後の試料乾燥重量 (g)	2089.2	2062.8	2162.5				
③ 流出した試料重量 (g) ①-②	32.8	32.2	31.8				
0.075mmふるいを通過する ④ 試料の重量百分率 (%) ③/①×100	1.55	1.54	1.45				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">平均値 (%)</td> <td colspan="3">1.51</td> </tr> </table>			平均値 (%)	1.51		
平均値 (%)	1.51						

JIS K 2207	アスファルトの針入度試験	報告証紙
------------	--------------	------

工事名 クリーンアスコン 再生骨材 試験年月日 令和8年1月9日
 試料名 旧アスファルト
 項目 再生骨材 定期管理試験 試験場所 日本道路(株)中四国技術センター
 試料採取場所 クリーンアスコン 試験者 石川 高弘

試験条件	25℃ 100g 5秒	試料番号	旧アスファルト	
測定番号	1	2	3	平均値
針入度 (1/100cm)	25	24	26	25

試験条件	25℃ 100g 5秒	試料番号	旧アスファルト	
測定番号	1	2	3	平均値
針入度 (1/100cm)				

試験条件	25℃ 100g 5秒	試料番号		
測定番号	1	2	3	平均値
針入度 (1/100cm)				

試験条件	25℃ 100g 5秒	試料番号		
測定番号	1	2	3	平均値
針入度 (1/100cm)				

試験条件	25℃ 100g 5秒	試料番号		
測定番号	1	2	3	平均値
針入度 (1/100cm)				

舗装調査・試験法便覧	アスファルト混合物の最大密度試験			報告用紙
調査・工事名	クリーンアスコン 再生骨材		試験年月日	令和8年1月9日
目的	再生骨材定期管理試験	試験場所	日本道路(株)中四国技術センター	
混合物の種類	再生骨材13~0	試験者	石川 高弘	
試料採取場所	クリーンアスコン			
容器番号・試料番号	1	2	3	
① 試料+容器重量 (g)	2808.3	2874.2	3003.9	
② 容器重量 (g)	782.1	763.5	818.9	
③ 試料重量 (g) ①-②	2026.2	2110.7	2185.0	
④ 25℃水+試料+容器重量 (g)	4469.5	4458.4	4618.4	
⑤ 25℃水+容器重量 (g)	3260.3	3198.8	3313.4	
⑥ 試料の表乾重量 (g)	-	-	-	
最大密度 ③/(③+⑤-④)	2.480	2.480	2.483	
平均最大密度	2.481			
<p>備考 容器のタイプはB(2,000ccガラス製密度測定用フラスコ)</p> <p>注) 混合物がアスファルトで完全に被膜されていない多孔質な骨材を含む場合 ⑥の値を、比重の計算式の分母③に置き換えて計算する</p>				

MARUI SHOKAI

令和8年 1月 19日

御中

大阪市西区九条南四丁目2番地
製造・販売元 株式会社丸井商会



品名 再生アスファルト用添加剤 P-4000

<u>試験項目</u>	<u>性状値</u>	<u>道路協会標準</u>
密度 @15°C g/cm ³	0.891	報告
引火点 (COC)	296	250以上
動粘度 mm ² /S(cst) @60°C	81.8	80~1,000
(代表値)		
薄膜加熱後の粘度比 (60°C)	1.22	2 以下
薄膜加熱質量変化率 (60°C)	-0.23	± 3%
組成分析 (JPI-5S-77-2019)		
飽和分 (%)	60.1	
芳香族分 (%)	38.6	
レジン分 (%)	1.2	
アスファルテン分 (%)	0.1	

以上

(備考)

上記の試験成績表は、生産実績等に基づき作成した当月の代表性状です、納入製品の実測値ではありません。